

世界史 B

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ギリシアでは前8世紀ごろになると、スパルタ、アテネ、コリントスなどの都市国家^(a)が成立した。ここでは「高い城」を意味する（ 1 ）と呼ばれる丘に神殿を建て、ふもとに広場^(b)が設けられ市民^(c)が集まり意見を交わした。ギリシアでは民主政治^(d)が発達し、文化や学問が栄えた。

ギリシアの各都市は、耕地を求めて地中海や黒海の沿岸に多数の植民市を建設した。これらのうち小アジア西岸でミレトスなどの諸都市が前5世紀はじめに（ 2 ）朝ペルシアにたいして反乱を起こした。反乱はまもなく鎮圧されたが、（ 2 ）朝ペルシアは反乱を支援したギリシア諸都市を服属させるためにここ^(e)に多数の軍をもって攻め入った。この攻防はおよそ50年に及んだが、最終的にはギリシア側が独立を守り通した。

この間の出来事からギリシアではアテネ側とスパルタ側に分かれて対立が深まり、前431年には戦争へと発展^(f)したが、前404年にアテネの敗北で終わった。勝利したスパルタも、市民の間に貧富の差が生まれて弱体化した。

バルカン半島中央部の（ 3 ）はギリシア人の国であったが、都市国家を形成せずに王政を敷いていた。この国の王（ 4 ）が前338年に（ 5 ）の戦いでテーベ・アテネ連合軍に対して勝利を収めると、翌年スパルタを除く全都市国家と（ 6 ）を結び、その盟主としてギリシアの覇権を握った。

（ 4 ）の息子アレクサンドロス大王は、ギリシアに干渉を続ける（ 2 ）朝ペルシアに出兵し、前333年（ 7 ）でこれに勝利し、やがてこの国を滅亡させた。アレクサンドロス大王は中央アジアやインダス川流域まで支配下に含む大帝国を築いたが、その死後領土は部下であった後継者たちに分割されて、（ 8 ）朝マケドニア、セレウコス朝シリア、プトレマイオス朝エジプト^(g)などが成立した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 8 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、これの別名をカタカナで答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、これの別名をカタカナで答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、古代ギリシアの都市国家で市民とされた人々について、あてはまるものを次のア～エからすべて選び、記号で答えよ。

- ア. 都市国家内の家系出身で、武器を自弁できる18歳以上の貴族男性
- イ. 都市国家内の家系出身で、戦闘に参加できる18歳以上の平民男性
- ウ. 都市国家内の家系出身で、裕福な家に仕える18歳以上の奴隷男性
- エ. 都市国家内の家系出身で、18歳以上の貴族女性

問5 下線部(d)に関連して、同時代人ではない人物を次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ヘロドトス イ. ペリクレス ウ. ソフォクレス エ. アルキメデス

問 6 下線部 (e) に関連して，この戦争の名称を答えよ。

問 7 下線部 (f) に関連して，この戦争の名称を答えよ。

問 8 下線部 (g) に関連して，この王朝の都の名称を答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

中華文明の世界では、内陸部のオアシス都市が点在する地域を「(1)」とよぶ。前漢の武帝は、(A) に派遣した (2) から (1) に関する情報を得て、タリム盆地を (B) から奪い、敦煌など4郡を置き、パルティアとの交易路であるシルクロードの東半分を支配した。その後、後漢の時代に (1) 地域を治めていた武将の (3) がタリム盆地の支配を再度確立した。彼がローマ帝国に派遣した部下の甘英はシリアに到達し、シルクロードの西半分の情報を中国にもたらした。

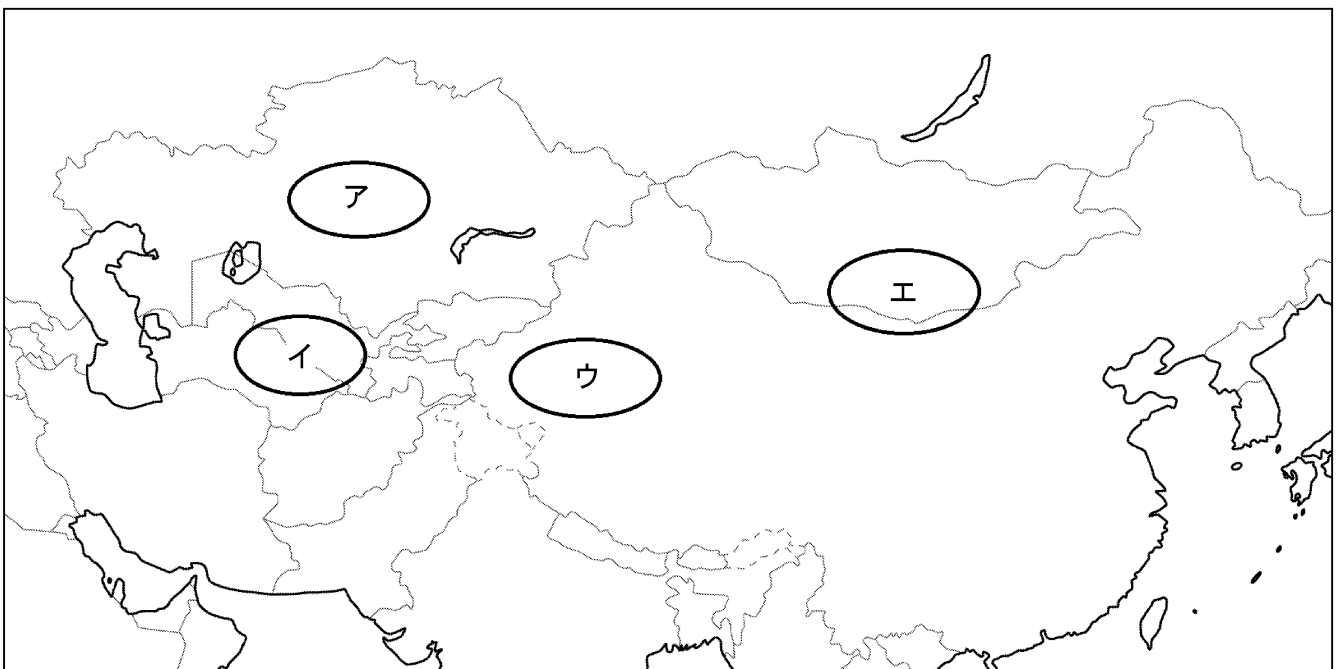
4世紀になると、鮮卑の一派である (C) が南下して、386年に華北に (4) を建国した。以後、北朝の諸政権の中核には、(C) など鮮卑系の人々が多く参加した。いっぽう、鮮卑の勢力が消えたモンゴル高原では、5世紀中ごろに (D) が勃興して、草原地帯東部の諸勢力をまとめ、(4) と対抗した。さらに (D) はタリム盆地に進出して、それ以東のシルクロードを影響下に置いた。(D) の君主は「可汗」を称し、これはその後、遊牧民国家の君主の称号「(5)」として広く用いられた。

問1 文中の空欄 (1) ～ (5) にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 文中の空欄 (A) ～ (D) にあてはまる部族名を、下の語群から1つ選び、記号で答えよ。

ア. 匈奴 イ. 高車 ウ. 丁零 エ. 大月氏 オ. 烏孫
カ. 柔然 キ. 大夏 ク. 拓跋氏 ケ. 突厥 コ. 羌

問3 下線部(a)に関連して、タリム盆地の位置を下図の ア～エ から1つ選び、記号で答えよ。なお、図の国境線と係争地域は、現代のものである。



3

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

875年にイラン系イスラーム王朝の（ A ）朝が西トルキスタンに建国されると、この政権のもとでトルコ人のイスラームへの改宗がすすんだ。トルコ人のイスラーム化は、最初のトルコ系イスラーム王朝である（ B ）朝が999年に（ A ）朝を滅ぼし、東・西トルキスタンをあわせたことによってさらに進展した。イスラーム化したトルコ人の一部は、その後も西方への移住を続け、西アジアの中心部に（ C ）朝やオスマン帝国を建設した。（ C ）朝はアナトリアに進出してビザンツ帝国軍を撃破したが、11世紀末から衰退に向かった。

一方、オスマン帝国はやがてバルカン半島に進出して1366年（1365年とも）にアドリアノーブル^(a)を首都にした。1396年、（ 1 ）はニコポリスの戦いでバルカン諸国とフランス・ドイツの連合軍を撃破したが、1402年、アンカラの戦いで（ D ）朝に大敗を喫し捕虜となった。しかし国力を回復させた（ 2 ）は、1453年ビザンツ帝国を滅ぼし、その首都コンスタンティノーブルを新たな首都にした。

その後（ 3 ）は、1514年、チャルディランの戦いでイスマーイール1世率いる（ E ）朝を破ったのちシリアへ進出し、1517年にマムルーク朝を滅ぼしてエジプトをあわせた。その結果、それまでマムルーク朝の管理下にあった両聖都^(b)の保護権を手に入れ、以後オスマン帝国のスルタンは、カリフ政治の後継者としてスンナ派イスラーム教を守護する中心の存在となった。

オスマン帝国は、（ 4 ）のもとで最盛期を迎えた。彼は（ E ）朝から南イラクを奪い、北アフリカにも支配を広げたばかりでなく、ハンガリーを征服し、1529年にはウィーンを包囲してヨーロッパ諸国に大きな影響を与えた。さらに1538年プレヴェザの海戦^(c)で地中海の制海権を手中にした。次のセリム2世は、1569^(d)年、外国商人に領内での居住と通商の自由をおおやけに認めた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまるオスマン帝国皇帝の名を、次のア～クからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ムラト1世 イ. ムラト2世 ウ. セリム1世 エ. ムスタファ1世
オ. バヤジット1世 カ. メフメト2世 キ. スレイマン1世 ク. オルハン

問2 文中の空欄（ A ）～（ E ）にあてはまるイスラーム王朝名を、次のア～クからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ササン イ. サーマーン ウ. カラハン エ. ファーティマ
オ. セルジューク カ. ブワイフ キ. ティムール ク. サファヴィー

問3 下線部(a)に関連して、トルコとギリシア、ブルガリアの国境に位置するこの都市の、現在のトルコでの名称を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. アンカラ イ. イスタンブル ウ. ブルサ エ. エディルネ

問4 下線部(b)に該当する、現在サウジアラビアに位置するイスラーム教の2つの聖地を答えよ。



問5 下線部(c)に関連して, この戦いでスペイン, ジェノヴァ共和国などとキリスト教側連合艦隊を編成してオスマン帝国艦隊に挑んだ, 東地中海の海洋国家の名を答えよ。

問6 下線部(d)に関連して, この特権は, オスマン帝国の衰退とともに裁判権や関税自主権に拡大解釈され, 事実上の不平等条約となった。この特権のカタカナの名称と, この特権が最初に与えられた国名を答えよ。

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

18世紀後半に広州の対外貿易の大半を占めていたイギリスでは、本国での茶の需要の増大にともなって中国茶の輸入が急速に増加し、輸入超過となっていた。そこで、これを打開するために、19世紀初めからは、中国の茶をイギリスに、イギリスの綿製品をインドに、インド産のアヘンを中国に運ぶ三角貿易を始めた結果、中国ではアヘンの吸引の習慣が広がった。禁止されていたアヘンの吸引が広がって密輸入がはげしくなると、1839年に清は、アヘン厳禁を主張した（ 1 ）を広州に派遣して取締りにあたさせた。彼はアヘンを没収して廃棄し、アヘン貿易を禁止した。イギリスは、武力による自由貿易の実現をとらえて海軍の派遣を決定し、1840年にアヘン戦争をおこした。その結果、清はやぶれて1842年に南京条約を結び、さらに翌43年には不平等条約を結んだ。また、44年には、アメリカ合衆国と（ 2 ）を、フランスと（ 3 ）を結び、イギリスと同様の権利を認めた。

1856年、アロー号事件を口実に、イギリスはフランスに呼びかけて共同出兵をおこない、アロー戦争（第2次アヘン戦争）をおこした。英仏軍は広州を占領し、1858年に（ 4 ）を結んだ。しかし翌年、批准書交換の使節の入京を清軍が武力で阻止したことを機に、英仏軍は再度出兵して北京を占領し、1860年に北京条約を結んだ。

アヘン戦争後、重税による窮乏化や清朝統治に対する不安感のために、民衆のあいだでは結社をつくってたすけあい、生活を守ろうとする動きが高まった。19世紀半ば、それらの結社は中国各地で反乱をおこしたが、そのなかで最大のものが、（ 5 ）を指導者としておこった太平天国である。太平天国は、各地の民衆の不満を吸収しつつ拡大しながら北上し、1853年に南京を占領してここを首都と定め、（ 6 ）と名付けた。

問1 （ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、広州において貿易業務の独占を認められた特権商人団体の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、2つの条約により清がイギリスに対して認めたこととして誤っているものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 上海・寧波・福州・厦門・広州の五港の開港
- イ. 香港島の割譲
- ウ. 関税自主権の喪失
- エ. アヘン貿易の公認

問4 下線部(c)に関連して、このとき英仏軍が破壊した清朝の離宮・庭園である円明園の設計に加わったイタリア出身のイエズス会宣教師の名前を答えよ。



問5 下線部(d)に関連して、太平天国についての記述として誤っているものを，次のア～エの中から1つ選び，記号で答えよ。

- ア．李鴻章の率いる常勝軍と呼ばれる義勇軍が清軍に協力して太平天国を鎮圧した。
- イ．曾国藩が湖南で組織した湘軍は，太平天国鎮圧に貢献した。
- ウ．男女平等に土地を均分する「天朝田畝制度」を發布した。
- エ．拝上帝会というキリスト教的宗教結社が中心となって，儒教排斥を唱えた。